

公益社団法人神奈川県病院薬剤師会
2025 年度事業計画

I. 公益目的事業

＜公 I＞一般市民に良質な医療と健康的な生活を提供するために、薬事・公衆衛生に関すること、医療薬学等の学術の進歩発展に関すること、薬剤師の資質向上に関することなどを行う事業

公 I-1	薬事・公衆衛生に関する正しい知識の普及・啓発を行う事業
-------	-----------------------------

＜定款上の根拠 第 2 章、第 4 条 3)、6)、8)＞

市民講座や相談会、体験学習会の開催及び協力、薬事関連資料の作成・配布等(ホームページを含む閲覧資料)により、一般市民に対して正しい薬事・公衆衛生に関する知識の普及を目的としている。同時に薬剤師職能に対する広報を行い、一般市民が気軽に相談できる環境を整える事を目的としている。

1. 市民公開講座・体験学習会およびくすり相談に関すること

一般市民を対象とした医薬品に関わる講演会を開催(関連団体と共催)する。また、「くすり相談」を実施し、一般市民への医薬品に関わる正しい知識の普及・啓発活動を行い、一般市民の健康管理、薬事知識の向上に寄与すると共に、展示物・配布物などを通して薬剤師の職能について一般市民への理解を深める。

公 I-1	1-1	「くすり市民講座」の開催	年 2 回
時期	第 1 回 2025 年 5 月	場所	未定
内容	学術集会等における「県民講座」の開催	実施形式	—
対象・人数	一般市民	参加費	無料
担当委員会	学術情報委員会		
<hr/>			
時期	第 2 回 2025 年 10 月	場所	未定
内容	題名の通り	実施形式	座学
対象・人数	一般市民 100 名	参加費	無料
担当委員会	GTA 委員会		
<hr/>			
公 I-1	1-2	一般市民を対象とした病院体験学習の開催	年 1~2 回
時期	2025 年 8 月	場所	未定
内容	題名の通り	実施形式	実習形式
対象・人数	一般市民(県内在住・在学の高校生) 15 名程度	参加費	無料
担当委員会	GTA 委員会		

公 I-1	1-3	「くすりと健康すこやかフェア:横浜」の開催		年 1 回
時期	2025 年 10 月	場所	横浜そごう前新都市プラザ	
内容	題名の通り	実施形式	—	
対象・人数	一般市民 1,500 名	参加費	無料	
担当委員会	GTA 委員会(神奈川県薬剤師会、横浜市栄養士会、神奈川県医薬品配置協会、神奈川県製薬協会と共催)			
公 I-1	1-4	市町村及び関係団体依頼の「講演会」への協力・「くすり相談」等の実施		年 1 回 および随時
時期	随時(地方公共団体及び関係団体等からの依頼時)	場所	依頼施設	
内容	題名の通り	実施形式	—	
対象・人数	一般市民	参加費	無料	
担当委員会	GTA 委員会、総務会			
時期	2025 年 5 月	場所	未定	
内容	学術集会等における「市民相談」の開催	実施形式	—	
対象・人数	一般市民	参加費	無料	
担当委員会	学術情報委員会			
公 I-1	1-5	病院薬剤師の職能に対する広報(展示パネルの整備)		随時
時期	随時	場所	未定	
内容	題名の通り	実施形式	—	
対象・人数	一般市民	参加費	無料	
担当委員会	GTA 委員会			

事業の財源:参加費および相談料は無料とし、費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

2. 県民向け情報提供に関すること

「患者・一般市民からの医薬品に関わる質問に積極的に答えよう」という活動のもと、医薬品に関わる正しい知識の普及・啓発を目的として、小冊子「あなたのくすり与健康」(視覚障がい者のための音声コード印刷版)を発行するなど情報提供を行う。

公 I-1	2-1	小冊子「あなたのくすり与健康」(音声コード印刷版)の発行		年 4 回
時期	2025 年 6 月、9 月、12 月、 2026 年 3 月	場所	一般市民、会員施設、市町村公共施設、 視覚障がい者の団体に配布	
内容	題名の通り	実施形式	—	
対象・部数	一般市民、部数 10,000 部	参加費	—	
担当委員会	GTA 委員会			

公 I-1	2-2	神奈川県病院薬剤師会ホームページによる医薬品情報の普及・啓発		随時
時期	随時	場所	当会ホームページ上	
内容	題名の通り	実施形式	—	
対象・人数	一般市民	参加費	—	
担当委員会	GTA 委員会			

事業の財源: 配布は無償とし、費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

3. 公衆衛生に関する普及・啓発

各医療機関で実施される看護週間の催し、献血事業・禁煙支援などの公衆衛生事業に積極的に協力するよう、広く医療従事者に呼びかけを行い、一般市民の健康管理、薬事知識の向上に寄与する。また、麻薬・覚せい剤・大麻の不正使用をなくすために、一般市民への呼びかけを行う。

公 I-1	3-1	看護週間への協力	年 1 回
時期	2025 年 12 月	場所	会員施設
内容	参加の呼びかけ、くすり相談コーナー設置への対応、資材の貸出等	実施形式	—
対象・人数	一般市民	参加費	無料
担当委員会	GTA 委員会		

公 I-1	3-2	禁煙支援に関すること	随時
時期	通年	場所	小冊子への情報掲載、 当会ホームページ上
対象・人数	一般市民	参加費	無料
内容・ 実施形式	日本病院薬剤師会「禁煙推進宣言」および神奈川県が推進している卒煙(禁煙)サポート事業に基づき、禁煙支援に関する情報を提供する		
担当委員会	GTA 委員会		

公 I-1	3-3	献血事業への協力	年 4 回
時期	2025 年 6 月、9 月、12 月、 2026 年 3 月	場所	—
内容	献血事業の協力を行う	実施形式	—
対象・人数	一般市民等 100 名	参加費	無料
担当委員会	GTA 委員会		

公 I-1	3-4	不正麻薬・覚せい剤・大麻撲滅運動の推進	随時
時期	通年	場所	小冊子への情報掲載、当会ホームページ上
対象・人数	一般市民	参加費	無料
内容・ 実施形式	神奈川県薬物乱用防止対策における不正大麻・けし撲滅運動に基づき、大麻・けし等に関する情報を提供する		
担当委員会	GTA 委員会		

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

公 I-2 高度で安心安全な医療を患者が受けられるようにする為の事業

＜定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)＞

神奈川県内の医療現場では、地域性や医療機能が異なると、一般市民が安心安全な薬物療法、良質な薬物療法、高度な薬物療法を受けられない現状がある。患者が神奈川県内どこの病院・地域でも同じレベルの薬物療法が受けられるようにするためには、薬物療法の質の向上やそれに係る地域および施設間格差の是正、薬剤師による薬剤の適正使用への関与が必要である。

それを達成するためには、薬剤師の研修を通して薬剤師の能力(高度な薬物療法を評価できる能力、副作用を早期発見する能力、疾患別専門薬物療法を評価する能力、患者への説明能力、処方チェック能力、チーム医療実践能力など)を向上させることが必要であり、そのための研修会、体験型(実習型)研修会等を企画・開催する。

1. 高度で安心安全な薬物療法を受けられるようにするための事業

薬物療法を受ける中で有害事象が起こることがある。それらを早期発見及び重篤化回避するために、高度な知識を持った臨床薬剤師の育成を行う。

公 I-2	1-1	薬剤に関するリスクマネジメント研修会の開催		年 1 回
時期	2026年3月	場所	web 開催(配信会場:神奈川県総合薬事保健センター)	
内容	病院・薬局プレアボイド合同研修会の実施	実施形式	座学	
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 500名まで	参加費	会員:無料 非会員: 神奈川県薬剤師会会員 無料 日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円	
担当委員会	業務検討委員会(神奈川県薬剤師会と共催)			

公 I-2	1-2	プレアボイド報告強化月間の実施		年 1 回(1ヶ月間)
時期	2025年10月	場所	—	
内容	題名の通り	実施形式	ポスター配布によるインフォメーション	
対象・人数	病院に勤務する薬剤師	参加費	—	
担当委員会	業務検討委員会			

公 I-2	1-3	プレアボイド報告事例集の作成		適宜
時期	本年度は事例集の発行は行わない (次回2026年発行予定)		場所	—
内容	プレアボイド報告事例集の作成		発行部数	事例集 1,000部
対象・人数	病院に勤務する薬剤師、国立国会図書館、 薬科大学(関東)など		参加費	希望施設に無料配布 (既刊事例集は在庫限り)
担当委員会	業務検討委員会			

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

※プレアボイド:薬剤師が薬物療法に直接関与し、薬学的患者ケアを実践して患者の不利益(副作用、相互作用、治療効果不十分など)を回避あるいは軽減した事例を集積及び解析し、考察を加えることによって、薬剤師の資質向上を図る。

2. 複雑化・高度化した医療に対応するための事業

疾病構造の急激な変化、医療・薬物療法の複雑化・高度化した現状において、地域および施設間格差があり、一般市民が標準的な医療を受けることができていない現状がある。そのような状況を是正するためには、どこの病院においても幅広い知識と高い専門性をもった薬剤師を育成する必要がある、そのための事業を行う。

公 I-2	2-1	がん薬物療法専門薬剤師セミナーの開催	年 3 回
時期	第 1 回 2025 年 5 月 第 2 回 2025 年 9 月 第 3 回 2025 年 12 月	場所	web 開催(予定)
内容	題名の通り	実施形式	座学
対象・人数	専門・認定薬剤師を目指している 薬剤師 各 100 名	参加費 (1 回分)	会員:500 円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 1,000 円 上記団体に属さない非会員 1,500 円
担当委員会	専門・認定支援委員会(がん領域)		
公 I-2	2-2	がん薬物療法専門薬剤師ワークショップの開催	年 3 回
時期	第 1 回 2025 年 6 月 第 2 回 2025 年 10 月 第 3 回 2026 年 2 月	場所	web 開催(予定)
内容	題名の通り	実施形式	座学、SGD
対象・人数	専門・認定薬剤師を目指している 薬剤師 各 60 名	参加費 (3 回分)	会員:3,000 円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 4,500 円 上記団体に属さない非会員 6,000 円
担当委員会	専門・認定支援委員会(がん領域)		
公 I-2	2-3	感染制御認定薬剤師セミナーの開催	年 2 回
時期	第 1 回 2025 年 8 月 第 2 回 2025 年 11 月	場所	web 開催(予定)
内容	題名の通り	実施形式	座学
対象・人数	専門・認定薬剤師を目指している 薬剤師 各 100 名	参加費	会員:500 円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 1,000 円 上記団体に属さない非会員 1,500 円
担当委員会	専門・認定支援委員会(感染領域)		

公 I-2	2-4	感染制御認定薬剤師講習会の開催	年 3 回
時期	第 1 回 2025 年 6 月 第 2 回 2025 年 9 月 第 3 回 2026 年 1 月	場所	川崎市生涯学習プラザ (または web 開催)
内容	題名の通り	実施形式	座学、SGD
対象・人数	専門・認定薬剤師を目指している 薬剤師 各 60 名 (web 開催の場合は各 40 名)	参加費 (3 回分)	会員:3,000 円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 4,500 円 上記団体に属さない非会員 6,000 円
担当委員会	専門・認定支援委員会(感染領域)		
公 I-2	2-5	精神科薬物療法認定薬剤師講習会の開催	年 2 回
時期	第 1 回 2025 年 7 月 第 2 回 2025 年 11 月	場所	横浜市社会福祉センター (または web 開催)
内容	題名の通り	実施形式	座学
対象・人数	専門・認定薬剤師を目指している 薬剤師 各 100 名	参加費	会員:500 円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 1,000 円 上記団体に属さない非会員 1,500 円
担当委員会	専門・認定支援委員会(精神領域)		
公 I-2	2-6	専門性向上のための研修会の開催	年 8 回
時期	第 1 回 2025 年 5 月 第 2 回 2025 年 7 月 第 3 回 2025 年 10 月 第 4 回 2026 年 1 月	場所	web 開催
内容	糖尿病療養指導士認定講習会	実施形式	座学、SGD
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者または その教育関係者 各 50~200 名	参加費	研修時間に応じて 会員: 500 円または 1,000 円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 1,000 円または 1,500 円 上記団体に属さない非会員 1,500 円または 2,000 円
担当委員会	教育研修委員会		
時期	第 5 回 2025 年 10 月 第 6 回 2026 年 2 月	場所	川崎市医師会館(または web 開催)
内容	病院薬剤師感染症フォーラム	実施形式	SGD
対象・人数	感染症診療に従事している薬剤師 各 60 名	参加費	会員:500 円 非会員:500 円
担当委員会	専門・認定支援委員会(神奈川病院薬剤師感染症フォーラムと共催)		

時期	第7回 2025年10月	場所	web開催
内容	妊婦授乳婦研修会	実施形式	座学
対象・人数	妊婦授乳婦業務に係わる薬剤師 80名	参加費	会員:500円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 1,000円 上記団体に属さない非会員 1,500円
担当委員会	専門・認定支援委員会		

時期	第8回 2026年3月	場所	web開催
内容	「専門認定に使える臨床推論」研修会	実施形式	座学(参加型)
対象・人数	臨床推論を学びたい薬剤師 (がん、感染、精神、妊婦、その他専門領域、領域複合もあり) 100名	参加費	会員:500円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 1,000円 上記団体に属さない非会員 1,500円
担当委員会	専門・認定支援委員会		

公I-2	2-7	TDM(薬物血中濃度モニタリング:Therapeutic Drug Monitoring)研修会の開催	年1回
時期	未定	場所	未定
内容	中小病院におけるTDM業務推進に必要な知識および技能の習得	実施形式	座学
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 100名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	中小病院診療所委員会		

公I-2	2-8	患者特性に応じた薬物療法研修会の開催	年1回
時期	2025年11月	場所	web開催
内容	小児、高齢者、妊婦・授乳婦、肝・腎機能低下患者に対する薬物治療や個別化医療に関するもの	実施形式	座学
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 200名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	教育研修委員会		

公I-2	2-9	DI(Drug Information)スキルアップ講座の開催	年1回
時期	2026年1月頃	場所	未定
内容	題名の通り	実施形式	座学またはWeb配信
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 100名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	学術情報委員会		

公 I-2	2-10	DI(Drug Information)研修会の開催	年 2 回
時期	第 1 回 2025 年 10 月頃 第 2 回 2026 年 3 月頃	場所	未定
内容	未定	実施形式	座学または web 配信
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 200 名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円
担当委員会	学術情報委員会		
公 I-2	2-11	DI(Drug Information)ワークショップの開催	年 1 回
時期	2025 年 11 月頃	場所	未定
内容	題名の通り	実施形式	SGD
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 60 名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円
担当委員会	学術情報委員会		
公 I-2	2-12	地区研修会の開催	年 7 回
時期	未定	場所	未定
内容	中小病院における薬剤師業務に 必要な知識および技能の習得	実施形式	座学若しくは SGD
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 各 100 名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円
担当委員会	中小病院診療所委員会		
公 I-2	2-13	病院・診療所・薬局実務者講習会の開催	年 1 回
時期	2026 年 3 月 (6 日間)	場所	総合講習 (2 日間): 神奈川県総合医療会館ほか 実務実習 (4 日間):各実習提携病院
内容	題名の通り	実施形式	座学・実務実習
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 60 名	参加費	会員:1,000 円 上記団体に属さない非会員の参加費は 規定により共催者で検討の上決定する
担当委員会	教育研修委員会(神奈川県薬務課、神奈川県薬剤師会と共催)		

公 I-2	2-14	卒後教育研修会の開催	年 3 回
--------------	-------------	-------------------	--------------

時期	未定	場所	未定
内容	新人薬剤師に対する薬剤業務の知識および技能の習得	実施形式	座学または体験型
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 30名	参加費	会員:1,000円 非会員: 日本病院薬剤師会会員 1,500円 上記団体に属さない非会員 2,000円
担当委員会	業務検討委員会		

時期	第2回 2025年10月	場所	未定
内容	褥瘡研修会	実施形式	座学・体験型
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者 50名	参加費	会員:2,000円 非会員: 神奈川県薬剤師会会員 2,000円 日本病院薬剤師会会員 2,500円 上記団体に属さない非会員 3,000円
担当委員会	業務検討委員会(神奈川県薬剤師会と共催)		

時期	第3回 2025年10月	場所	web開催
内容	薬剤師が知っておくべき法律	実施形式	座学
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 200名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	教育研修委員会		

公 I-2	2-15	薬学研修会の開催	年 12 回	
時期	第 1 回～第 10 回	場所	web 開催	
	8 月、1 月を除く毎月第 2 木曜日			
内容	薬学合同研修会	実施形式	座学	
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 各 200 名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円	
担当委員会	教育研修委員会			
時期	第 11 回 2026 年 1 月	場所	神奈川県総合医療会館	
内容	病院薬剤師研修会	実施形式	座学	
対象・人数	県内病院・診療所の薬剤師 (人数未定)	参加費	無料	
担当委員会	教育研修委員会(神奈川県薬務課と共催)			
備考	2018 年度より神奈川県薬務課との共催			
時期	第 12 回 2025 年 7 月	場所	web 開催または現地+web 開催	
内容	輸液栄養	実施形式	座学	
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者または その教育関係者 200 名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円	
担当委員会	教育研修委員会			
公 I-2	2-16	フィジカルアセスメント研修会の開催	年 1 回	
時期	2025 年 9 月	場所	横浜薬科大学	
内容	フィジカルアセスメント研修	実施形式	実技演習	
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 16 名	参加費	会員:無料 非会員:500 円(共催団体の規定による)	
担当委員会	教育研修委員会			
公 I-2	2-17	「薬剤業務関連冊子」の作成	随時	
時期	随時	場所	—	
内容	題名の通り	実施形式	—	
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者	参加費	会員施設は無料 非会員の希望施設には実費で配布	
担当委員会	関係各委員会			

公 I-2	2-18	薬剤師キャリア支援研修会の開催	随時
時期	随時	場所	各研修連携施設
内容	題名の通り	実施形式	見学・実務実習
対象・人数	薬剤師資格を有する病院未経験者、復職希望者 20名	参加費	無料
担当委員会	総務会 応募者の希望により、研修施設・日時・期間・コースを決定する。		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・ベーシックコース(主に見学研修):0.5日×1日間 ・アドバンスコース(主に実務研修):0.5日×4日間 		

公 I-2	2-19	病床機能別研修会の開催	年5回
時期	精神科領域研修会 未定	場所	未定
内容	精神科領域の薬剤師業務に必要な知識および技能の習得	実施形式	座学・SGD
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 100名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	中小病院診療所委員会		

時期	療養病床対象研修会 未定	場所	未定
内容	療養病床の薬剤師業務に必要な知識および技能の習得	実施形式	座学・SGD
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 100名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	中小病院診療所委員会		

時期	診療所対象研修会 未定	場所	未定
内容	診療所の薬剤師業務に必要な知識および技能の習得	実施形式	座学・SGD
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 100名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	中小病院診療所委員会		

時期	第1回 急性期・ケアミックス・療養 病床・診療所対象輸液・栄養管理 研修会 未定 第2回 急性期・ケアミックス・療養 病床・診療所対象輸液・栄養管理 研修会 未定	場所	未定
内容	急性期・ケアミックス・療養病床・診 療所対象輸液・栄養管理研修会	実施形式	座学・SGD
対象・人数	医療機関や在宅で栄養療法に関 わる機会のある初学者から専門的 な知識を有する者またはその教育 関係者 各100名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	中小病院診療所委員会		

事業の財源:費用には会費、参加費、補助金、寄付金を充てる。

がん薬物療法専門薬剤師セミナー、がん薬物療法専門薬剤師ワークショップ、感染制御認定薬剤師セミナー、感染制御認定薬剤師講習会、精神科薬物療法認定薬剤師講習会、輸液・栄養に関する研修、糖尿病療養指導士認定講習会、病院・診療所・薬局実務者講習会、卒後教育研修会、医療施設研修所実地研修会は参加費を徴収する。

3. 医療の質に関する調査

薬物療法は、地域および施設間によって医療の質の格差があってはならない。患者が標準的な医療を受けられる事が理想である。医療の質(薬物療法の質)の向上を目的として現状を把握し、これらを分析することで地域及び施設間格差への対応を図る。更にそこから得られた有益な情報を各施設のみならず学術誌等に広く公表し還元する。

公 I-2	3-1	医療の質に関する調査	年 2 回及び必要時
時期	2025 年 6 月～10 月	対象・人数	対象となる施設、団体及び個人
内容	日本病院薬剤師会による業務調査の広報と調査結果集計および会員施設への周知 必要に応じて追加調査	結果公表先	各種学会、当会雑誌・ホームページなど
担当委員会	業務検討委員会		
時期	今年度は行わない	対象・人数	対象となる施設、団体及び個人
内容	中小病院における業務実態調査	結果公表先	各種学会、当会雑誌・ホームページなど
担当委員会	中小病院診療所委員会		

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

4. 医薬分業支援に関する事業

院外処方せん発行増加により疑義(用法用量・疾患への適応・使用上の注意事項など)が増えており、保険薬局薬剤師は、患者情報不足から薬物療法が適切に評価できない状況にある。また、薬物療法の内容について、入院中と退院後の外来通院時の情報提供内容が一致するように院内と院外の薬剤師が連携する必要がある。そのような状況下における患者の不利益を回避することを目的とし、双方の薬剤師同士の情報共有を充実させるために事業を行う。

公 I-2	4-1	他団体との合同研修会の開催		年 6 回
時期	第 1 回～第 5 回 未定	場所	第 1 回～第 3 回 小田原市保健センター 第 4 回・第 5 回 横須賀市医師会館	
内容	第 1 回～第 5 回 未定	実施形式	座学	
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者 またはその教育関係者 各 100 名程度	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円 共催相手の会員は原則無料とするが、非会員の参加費は規定により共催者同士で検討の上決定する。	
担当委員会	中小病院診療所委員会(小田原薬剤師会と共催)			
時期	第 6 回 未定	場所	神奈川県総合薬事保健センター	
内容	神奈川県薬剤師会との合同による薬薬連携研修会	実施形式	座学	
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者 またはその教育関係者 100～200 名程度	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円 共催相手の会員は原則無料とするが、非会員の参加費は規定により共催者同士で検討の上決定する。	
担当委員会	業務検討委員会(神奈川県薬剤師会と共催)			

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

公 I-3 薬学生教育に関する事業

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、5)>

病院等における薬学生実務実習の現状調査、実習指導薬剤師の養成、実習指導書等の作成・頒布、受け入れ医療機関への支援を行うことで、臨床での卒前教育を促進し、薬学生教育に寄与する。これらをもって薬剤師としての倫理観、医療現場での実践能力を高め、臨床能力を身につけた薬剤師を養成することを目的としている。

1. 薬学生教育のための調査・調整に関する事

臨床実習(病院実務実習、早期体験学習、アドバンス病院実習、その他薬学生の実習、見学実習等)に関する問題点、受け入れ状況を把握するために、薬学生受け入れ医療機関、薬学生所属大学、新卒薬剤師、関係者等に対して調査を行い、実習内容の充実と質の向上を図る。

公 I-3 1-1 病院実務実習における問題点抽出のためのアンケート調査の実施 年1回

時期	2025年12月	場所	—
内容	題名の通り	結果公表先	当会雑誌およびホームページ
対象・人数	会員施設、24大学など	担当委員会	薬学生病院実習検討委員会

公 I-3 1-2 薬学生受入れに関する実態把握のためのアンケート調査の実施 年1回

時期	2025年12月	場所	—
内容	題名の通り	結果公表先	当会雑誌およびホームページ
対象・人数	会員施設、24大学など	担当委員会	薬学生病院実習検討委員会

公 I-3 1-3 病院実務実習における問題点抽出のためのワークショップ形式調査の実施 年1回

時期	2026年3月	場所	未定
内容	題名の通り	実施形式	SGD
対象・人数	6年制の課程を修了した薬剤師 24名	参加費	会員 500円 神奈川県薬剤師会会員 500円 日本病院薬剤師会会員 1,000円 上記団体に属さない非会員 1,500円
結果公表先	当会雑誌、ホームページその他学会誌等		
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会		

公 I-3 1-4 神奈川県薬剤師会、病院・薬局実務実習関東地区調整機構との情報交換 年4回程度

時期	随時	場所	神奈川県総合薬事保健センター他
内容	題名の通り	実施形式	—
対象・人数	神奈川県薬剤師会: 18名(うち会員1名) 病院・薬局実務実習関東地区調整 機構の会員:74名他(うち会員1名)	参加費	無料
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会		

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

2. 認定実務実習指導薬剤師(※)養成事業に関する事

薬学生を臨床現場(病院等)で教育するために必要な認定実務実習指導薬剤師を養成する。

公 I-3	2-1	認定実務実習指導薬剤師養成事業における講習会の開催	年 2 回
時期	共催団体と協議の上決定	場所	神奈川県総合薬事保健センター、横浜薬科大学、昭和薬科大学等
内容	題名の通り	実施形式	座学
対象・人数	指導薬剤師の取得・更新を目指している薬剤師 各 50 名	参加費	共催団体と協議の上決定
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会(神奈川県薬剤師会等と共催)		
備考	養成講習会 兼 更新講習会		
公 I-3	2-2	認定実務実習指導薬剤師(※1)養成事業におけるワークショップの開催	年 3 回
時期	共催団体と協議の上決定	場所	共催団体と協議の上決定
内容	題名の通り	実施形式	ワークショップ
対象・人数	指導薬剤師の取得・更新を目指している薬剤師 各 30 名	参加費	会員・非会員 共催団体と協議の上決定する
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会(薬学教育協議会関東地区調整機構主催、神奈川県薬剤師会、横浜薬科大学、昭和薬科大学等と共催)		
備考	養成コース 2 回、アドバンスコース 1 回(共催団体と協議の上決定)		
公 I-3	2-3	実務実習に関する説明会の開催(※2)	年 1 回
時期	未定	場所	未定
内容	改訂モデル・コアカリキュラムに準拠した実習に関する講習会	実施形式	座学
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者またはその教育関係者 100 名	参加費	会員:無料 非会員: 日本病院薬剤師会会員 500 円 上記団体に属さない非会員 1,000 円
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会		

事業の財源:費用には会費参加費、補助金、寄付金を充てる。

認定実務実習指導薬剤師養成事業における講習会、認定実務実習指導薬剤師養成事業におけるワークショップでは参加費を徴収する。

(※1)

認定実務実習指導薬剤師:6年制薬学教育制度下の薬学生に対して、医療の現場における実務実習の際に指導に当たることができる薬剤師。2005年度から2009年度までは厚生労働省補助事業「認定実務実習指導薬剤師制度」として実施され、2010年度から2021年度まで日本薬剤師研修センター独自事業として実施してきた。2022年度から本事業は薬学教育協議会に移管されている。

(※2)

これまで、日本薬剤師研修センター、関東地区調整機構、日本病院薬剤師会等関連団体からの情報伝達会を急遽開催しなければならないケースがあった(対応困難なSBOsへの対応方法関連の伝達講習、実習指導書の使用方法説明会)ため、予算計上の必要があり、毎年事業計画には記載している。

3. 薬学生病院実務実習関連書籍の作成・頒布

薬学生教育の標準化および質を確保することで、臨床能力のある薬剤師を育成するために薬学生病院実務実習関連書籍の作成および頒布を行う。

公 I-3	3-1	「薬学生病院実務実習指導書」および「薬学生病院実務実習ノート」の改訂・頒布	必要時
時期	随時頒布		
内容	題名の通り		
対象・人数	病院実務実習の受入施設、各薬科大学、日本病院薬剤師会他 関連団体に配布		
費用等	受入施設:郵送等にて無償配布、非会員・学生等:書店にて実費購入		
担当委員会	薬学生病院実習検討委員会		

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

2. 神奈川県病院薬剤師会雑誌の発行

医学、薬学領域に関する情報、論文、医薬品情報、教養、行政通知、行政・薬業界の話題等を掲載している。もって薬剤師の学術的資質向上を図り、医学、薬学領域の学術の振興に寄与する。

公 I-4	2-1	神奈川県病院薬剤師会雑誌の発行	年 3 回
時期	2025 年 7 月、11 月、2026 年 2 月発行		
内容	題名の通り	実施形式	—
対象・人数	会員、関係団体、公共機関等へ 配布(部数:3,400 部)	参加費	非会員は実費で購入可能
担当委員会	会員・広報出版委員会		
備考	神奈川県病院薬剤師会雑誌の一部を HP に掲載		

公 I-5	災害医療に関する事業
-------	------------

< 定款上の根拠 第 2 章、第 4 条 4) >

災害時における防災マニュアル、緊急連絡網などの整備を行い、更に会員施設合同で訓練を行うことで、災害時の医薬品の確保及び人的支援、応急活動等を円滑にするための事業。また災害医療研究会を開催し、災害医療に関する啓発及び有効な対策について検討する。

1. 災害医療対策

震度 5 強を越える災害時における防災マニュアル、緊急連絡網の整備並びに訓練。

公 I-5	1-1	災害時における神奈川県病院薬剤師会の対応訓練	年 1 回
時期	2025 年 9 月		
内容	題名の通り		
対象・人数	神奈川県内の医療機関(ホームページ内で広報する)		
担当委員会	会員・広報出版委員会		

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる。

公 I-5	1-2	災害医療に関する事	適宜
時期	通年		
内容	災害時派遣薬剤師および神奈川県災害対策本部に努める災害薬事コーディネーターの育成など、発災時における被災地への薬剤師派遣(調整)などを行う。		
対象・人数	神奈川県内の医療機関		
担当委員会	総務会		

2. 災害医療に関する研究会の開催

災害時に、病院薬剤師が一般市民を守るための必要な知識を高め、施設間の連携強化を図る。

公 I-5	2-1	災害医療に関する研究会の開催	年 1 回
時期	2025 年 9 月	場所	横浜市社会福祉センターホール
内容	未定	実施形式	座学
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者 またはその関係者 100 名	参加費	会員・非会員:無料
担当委員会	会員・広報出版委員会		

事業の財源:費用には会費、補助金、寄付金を充てる

Ⅱ. その他の事業(収益事業等)

他 1	薬剤部門業務支援に関する事業
-----	----------------

<定款上の根拠 第2章、第4条1)、2)、7)、8)>

薬剤部門支援に関する研修会などを開催し、薬剤師のマネジメント能力の向上、その他薬剤部運営に関する技術の向上を図り、安定した医療活動を提供できるようにするとともに、医療管理学の進歩発展に寄与する。

他 1	1	薬剤業務推進のための講演会の開催	年 1 回
時期	2026年3月	場所	web 開催(配信会場:神奈川県総合薬事保健センター)
内容	診療報酬改定に関する研修会	実施形式	座学
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 500名まで	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	業務検討委員会		
他 1	2	薬剤部門管理職指導者研修会の開催	年 1 回
時期	2026年2月	場所	web 開催
内容	題名の通り	実施形式	座学
対象・人数	薬剤部門管理職及びそれに準ずる者 40名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	ファーマシーマネジメント委員会		
他 1	3	ファーマシーマネジメント(※1)セミナーの開催	年 1 回
時期	2025年7月	場所	web 開催
内容	未定	実施形式	座学
対象・人数	薬学的な専門的な知識を有する者 またはその教育関係者 100名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	ファーマシーマネジメント委員会		
他 1	4	バランス・スコアカード(※2)に関する研修会開催	年 2 回
時期	第1回 2025年12月 第2回 2026年1月	場所	神奈川県薬事保健センター
内容	バランス・スコアカードの作成	実施形式	座学・SGD
対象・人数	薬学的な専門知識を有する者またはその教育関係者で薬剤部門、薬局勤務者 40名	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	ファーマシーマネジメント委員会		

他1	5	バランス・スコアカード普及に関するファシリテーター養成講習会の開催	年1回
時期	2025年11月	場所	未定
内容	題名の通り	実施形式	座学・SGD
対象・人数	本会会員のうちファーマシーマネジメント委員会委員、ファシリテーター希望者 15名程度	参加費	会員:無料 非会員:日本病院薬剤師会会員 500円 上記団体に属さない非会員 1,000円
担当委員会	ファーマシーマネジメント委員会		

事業の財源:費用には会費、参加費を充てる。

※1:ファーマシーマネジメント:病院薬剤部門における各種経営資源(医薬品・物流・コスト・人材・情報・患者安全など)のマネジメントを実践することにより、健全な病院経営に寄与すること。

※2:バランス・スコアカード:企業のもつ重要な要素が企業のビジョン・戦略にどのように影響し業績に現れているのかを可視化するための業績評価手法。病院薬剤業務の評価にも応用している。

他2	名簿発行に関する事業
----	------------

<定款上の根拠 第2章、第4条5)、7)>

会員名簿を作成し、会員が常時利用できるようにする。

他2	1	神奈川県病院薬剤師会会員名簿の発行	随時
時期	通年		
内容	題名の通り		
対象・人数	会員		
発行	クラウド上で閲覧可能(パスワード管理)		
費用	-		
担当委員会	会員・広報出版委員会		